

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
カペラステークス	別定	GIII	中山	ダート1200m	良想定	消耗	中荒れ	C or D

※文字色の意味 2020/12/13

赤…GOOD妙味大な馬 - 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆値
1	スズカコースライン	北村宏	スズカコースウェイ	ストームキャット	Fortunate Prospect	ミスターロマン	B	C	C	B	E	E	12	消		12
2	ヒロシゲゴールド	亀田	サウスヴィグラス	ミスターロマン	ブラックタキシード	サンデーサイレンス	B	B	B	B	E	D	7	消		7
3	ノーフィアー	江田照	カネヒキリ	サンデーサイレンス	フォーティナイナー	ミスターロマン	A	C	C	E	B	C	14	△1		14
4	シュウジ	津村	キンシャサノキセキ	キングマンボ	Kingmambo	キングマンボ	B	B	C	C	B	C	9	△3		9
5	ロンドンテソーロ	大野	Exceed And Excel	デインヒル	Sir Percy	ミルリーフ	C	C	C	B	E	E	8	消		8
6	ジョーカナチャン	石橋脩	ロードカナロア	キングマンボ	ネオユニヴァース	サンデーサイレンス	C	D	C	C	E	E	10	消		10
7	ダイメイフジ	横山和	アグネスデジタル	ミスターロマン	ダンスインザダーク	サンデーサイレンス	B	D	C	C	D	D	11	消		11
8	サイタスリーレッド	石川	ダノンシャンティ	サンデーサイレンス	Salt Lake	ヴァイスリージェント	A	C	D	C	E	E	16	消		16
9	ダンシングプリンス	三浦	バドトロワ	ミスターロマン	バブルガムフェロー	サンデーサイレンス	B	B	B	B	E	D	1	消		1
10	サブノジュニア	矢野貴	サウスヴィグラス	ミスターロマン	カコイーシーズ	ミスターロマン	B	C	B	B	A	B	4	▲		4
11	テーオージーニース	丸山	ゴールドアリュール	サンデーサイレンス	Afternoon Deelites	ダマスカス	B	B	B	B	A	B	5	◎		5
12	レッドルゼル	川田	ロードカナロア	キングマンボ	フレンチデピュティ	ヴァイスリージェント	B	B	B	C	A	B	3	○		3
13	ジャスティン	坂井	オルフェーヴル	サンデーサイレンス	Gone West	ミスターロマン	C	B	B	B	D	C	2	△2		2
14	フォーテ	戸崎	ロードカナロア	キングマンボ	Noverre	ブラッシンググループ	C	C	C	B	E	E	6	消		6
15	デュープロセス	斎藤	Daiwa Major	サンデーサイレンス	New Approach	サドラズウェルズ	C	C	C	B	A	C	13	☆		13
16	イダベガサ	内田博	ゴールドアリュール	サンデーサイレンス	Forest Camp	ヴァイスリージェント	A	D	D	B	D	D	15	消		15

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>毎年のように先行激化で差し追い込みがズバツと決まっているレース傾向。今年の出走馬を見渡しても、もう半数以上が徹底先行タイプと言って良さそうなメンバーですし、どう考えても先行争いが激しくなりそう。最後の直線でガラリと入れ替わるような展開になりそうで、もうそうなれば差し追い込みタイプに決め打ちで狙ってみたい。</p> <p>本命は昨年狙った◎テーオージーニースが面白そうだ。昨年もテレビ画面からは見えない位置から追い込んで2着確保。近走は不甲斐ない成績となっているが、2走前は休み明けで陣営コメントも最悪。前走は適性外の1400mの距離ならば度外視可能か。今回はベスト条件でどう考えても展開が向きそう。玄人人気は必至かと思うが、それでも最も狙える馬だと思います。</p>

REVIEW
<p> </p>

血統
サンデーサイレンスの血が活きにくい舞台だが、フジキセキ系の馬はその中でもよく走っている。ヴァイスリージェント系の好走が目立っている。

適性
前半が下り坂で先行争いが激しくなった上で直線に急坂が待ち受けている舞台。前半が激流になった上で後半は上がりがかかり放題というラップ構成になりやすい。圧倒的に差し馬有利。

データ
×7歳以上で当日9番人気以下(0-0-0-28)
×関東馬で当日9番人気以下(0-0-0-18)
△前走室町S(0-0-1-21)
△前走1200mの0P特別で6着以下(0-0-1-25)
×前走芝(0-0-0-7)
×間隔半年以上(0-0-0-6)

ペース
もう逃げ馬がズラリと揃ったメンバー構成。まず超ハイペースで前崩れの展開になるだろう。

危険な馬
ダンシングプリンス=ダートでは無敗という素晴らしい成績の持ち主だが、今までスピードを活かす競馬しか経験しておらず、嫌まれる競馬は今回が初めてになりそう。そこでテンに違いタイプではないので今回は自分の競馬ができそうですし、そうなると思えば前走も悪くはないんじゃないだろうか。

妙味大な馬
テーオージーニース=昨年もテレビ画面からは見えない位置から追い込んで2着確保。近走は不甲斐ない成績となっているが、2走前は休み明けで陣営コメントも最悪。前走は適性外の1400mの距離ならば度外視可能か。今回はベスト条件でどう考えても展開が向きそう。

穴馬
デュープロセス=プロキオンSのレースぶりなどをみても様ならず追い込みで激する競馬ならそこそこ強そうな感じ。今回も完全にピンかパーだとは思いますが、それがハマりそうな展開になりそうで、なおかつそういう競馬がしやすいような枠順が引けた。大穴ならばこの馬じゃないだろうか。

タイム	上3F	下3F

ラップタイム

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

